

高齢者住宅 経営者・リーダー53人に聞く

シニアビジネス2021

【個表の見方／質問事項】

- ① (コロナ禍で) 2021年以降のシニア・介護ビジネス、高齢者住宅運営は全体としてどう変化していくとお考えですか？
- ② 業界全体の高齢者住宅(有料老人ホーム・サ高住)の開発トレンドは？また、貴社の開発意欲は？
- ③ 現在、貴社にとってのシニア・ヘルスケア業界における最大の関心事はなんですか？(感染症対策、新・生活様式への対応、災害対応、次期介護保険制度改正、認知症・認知症予防、人材採用、人材育成・定着、外国人材活用、人件費上昇、建築費高騰、入居率改善(入居募集活動)、テクノロジー導入による業務効率改善・顧客サービス充実、
- ④ 貴社運営施設における感染症対策や新・生活様式への対応、さらには人材採用・育成・定着に関して、2021年、新たに行なう予定のお取組みがございましたら教えてください。
- ⑤ 貴社の2021年以降の「イチ押しプロジェクト」がありましたら、その特徴と併せてご記入ください。

① 新型コロナウイルスの席巻で、シニアビジネスは大きな転換期に直面したと感じています。地域包括ケアの根幹は、人や地域との密接なつながりであると認識していますが、人同士の接触が限定的になることによって、代替的な仕組み(AIによるサービスやネットワークを介した多様なサービス等)の開発が一段と進む契機になると捉えています。

② 有料老人ホーム、サ高住の開発については、人材不足、建築費の高止まりから昨年同様の供給推移にとどまるとみえています。一方、人員配置や参入障壁の低さから、自立・フレイル向けの開発がこれまで以上に加速すると思っています。当社では都内の城南、城西エリアに重点を置き、自立・介護向け施設を立地や規模に応じて事業化していく計画です。

③ 次期介護保険制度改正、外国人採用、テクノロジー導入による業務効率改善・顧客サービス充実、M&A等による企業・事業規模拡大、介護保険外サービス

④ コロナ禍でご入居者の生活が閉塞的とならないよう、オンラインの旅行体験や買い物ツアー、ホテルシェフによる特別ディナー、園芸レクを開催しています。また理美容をリラクゼーションの一貫として捉え、マッサージやアロマセラピー、ネイル等のサービスを充実させていく予定です。人材採用については、子育て世代などの潜在介護士をフレキシブルな雇用形態で積極的に採用していきます。また、全スタッフを対象に就業満足度のWebアンケートを毎月行ない、意見やアイデアを運営改善や離職防止につなげていく考えです。

⑤ 「ガーデンテラス砦公園」(世田谷区)の開設が2021年2月に控えています。敷地や館内の随所に石や木、緑など自然素材を配して、近接する砦公園の自然をシームレスに感じられる住空間づくりを意識しました。最上階には砦公園を一望できるダイニングと、富士山を望むスカイガーデンを擁しています。スカイガーデンでは家庭菜園や園芸セラピーを行ない、お住まいのみなさまに草花と触れる楽しみをご提供したいと考えています。



シマダリピング
パートナーズ様
代表取締役

三田 武氏